

6. CONCLUSION

並列ネットワーク内での (実現—達成—満足—納得すること) を (抑制—拘束—制約) する統計にもとづくシステムの適応の探索は

各自の他のグループから独立によって発見された新しいエリアを期待できる。(Geman & Geman, 1983; Smolensky, 1983)

私たちが簡単に通っただけの部分には、多くの興味深い論旨がある。

Hinton と Sejowski と Geman and Geman(1983) は

ベイズ推論とより一層に慣習的な (休養—緩和—緩み—弛緩) 技術;Fahlman,Hinton, と,Sejnowski(1983) は別のいくつかの並行的な (計画—構想) とボルツマンマシンを比較し、そしていくつかの知識表現の (趣旨—論旨) について議論した。

この論文の拡大された版 (Hinton,Sejnowski,&Ackley,1984) は

より深いこの (物質—材料—構成要素) と

そのような脳の関係のたくさんの (趣旨—論旨) の議論と

逐次的な振舞いの問題。

物質の結合

リラックスできるための

伝送による時間の遅延はリラックスされ、そして

いくつかの他の処理上でのシミュレーションの結果を記述する。

対称重みのシステムは計算機デバイスの興味深いクラスを形成する。

なぜならば、それらのダイナミクスはエネルギー関数によって制御されるからだ。

これは、それらの振舞いの解析を可能にし、そして、

反復の制限された実現にそれらは使われる。

それらのパーセプトロンの影響力のある (探検—探査—調査)、

Minsky と Papert(1968, p.231) は次のような結論を下している。

ループを持つ多層の機械はオートマトンの一般的な理論の問題の全てを明らかに (広げる—開始する—開拓する)。

この (発言—意見—提示—命令文) はとても尤もらしいけれども、

最近の (発達—発展—進展—開発) は、誤解を招くだろうと提案している。

なぜならば、この対照的な場合は無視でき、そして

パーセプトロンのような素子のネットワークについての強力な学習アルゴリズム

を見つけることは不可能だろう

一般的な (信念—信頼—信用—意見) を導き出すように見える。

ボルツマンマシンは

ボルツマン分布と情報理論の関係に近い (を十分に生かす—有効に使う) 興味深い

統計モデルのクラスのシンプルな例だと信じている。

この全ては全か無の (all-or-none) の (過ぎた—素性—越えた—過去の—これまで) より一層に (堅い—頑固に—厳しい) コンピュータの理論で、そして、(正式な—公式な) ロジックの表現を理論を導くだろう。

彼らは、より少ない組み合わせと、より一層に解析的で、(個性—特性—身分—キャラクター)。

実際に、

There are numerous indications to make us believe that this new system of formal logic will move closer to another discipline which has been little linked in the past with logic.

多数の (指示—表示—指摘) は私たちに を信じさせる。

形式論理学のこの新しいシステム

ロジックの (過ぎた—これまで) 内は別の規律

この熱力学、その形式内の主として、それはボルツマンから受け取られ、そして

それを操作する側面のいくつかと測定情報 (情報測度?) 内での部分。

There are numerous indications to make us believe that this new system of formal logic will move closer to another discipline which has been little linked in the past with logic.

There are numerous indications to make us believe that this new system of formal logic will move closer to another discipline which has been little linked in the past with logic.

There are numerous indications to make us believe that this new system of formal logic will move closer to another discipline which has been little linked in the past with logic.